

21.3 型カラー液晶モニター CL-S301 設置マニュアル (システムベンダー用)

Model: CL-S301BN0JA CL-S301BA0JA



この「設置マニュアル」をよくお読みいただき、正しくお使いください。 また、ご使用前に必ず「取扱説明書」の「安全上の注意」を読んで正しくお使いください。 「設置マニュアル」はできる限り身近な所に大切に保管してください。

B5E-0324-00

もくじ

. 3
. 4
. 5
. 7
. 8
. 9
. 9
12
13
14
15
17
19
21
23
25
27
29
30
31
33
35
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46

- ・ USB-C[™]および USB Type-C[™]は、USB Implementers Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- ・ VESA は、Video Electronics Standards Association の商標です。
- ・ 記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。



製品セキュリティに関して

注意	本製品は専用のマイコンシステムにより動作しています。 そのプログラムが消去・変更されると正常な表示ができなくなるおそれがあ ります。
	本製品をワークステーションと接続して設定変更や精度管理等の制御を行う際、通信中は USB ケーブルを抜かないでください。
注意	 IT ネットワークへの接続に関して IT ネットワークへの接続には想定しないリスクが生じる可能性があります。 IT ネットワーク接続の変更には新たなリスクが生じる可能性があります。 変更には、構成の変更、機器の追加、機器の取り外し、機器の更新を含めます。 これらのリスクを特定し、リスクマネジメントをしてください。
Q ^ŵ ?	本製品をセキュアな状態でご使用いただくために、本製品と接続して使用す るワークステーションにおいて、下記のセキュリティ対策を適用にて使用し てください。 ・アンチウィルス対策ソフトウェアのインストール ・ファイアーウォールの有効化とポート制御

付属品を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、以下のものがすべて入っていることを確認してください。 万一足りないものや破損しているものがあった場合は、おそれいりますが、販売店にご連絡く ださい。

注意本製品以外に付属の電源コードを使用しないでください。

□モニター本体

□電源コード (2.0 m)

□ DisplayPort ケーブル (3.0 m)

N







□ USB Type-A ⇔ USB Type-B ケーブル (3.0 m)

C.



□ 3P-2P 変換アダプタ

□ユーティリティディスク* □取扱説明書×1

□取扱説明書×1 設置マニュアル×1







※ ユーティリティディスクについて

本製品に付属のユーティリティディスクに収録されている「QA Medivisor Agent LE」をワークステーションにインストールすると、キャリブレーションや各種テストパターン表示等の拡張機能を使うことができます。

インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。

梱包箱や緩衝材は、輸送などのために保管しておいてください。

接続のしかた

- 1) 接続するワークステーションの電源をオフにします。
- 使用する端子に応じた各ポートにケーブルを接続します。
 <u>USB-C[™]コネクタで接続する場合:</u>
 付属の USB Type-C[™]ケーブルで、本製品の「USB-C[™]」ポートとノート PC やモバイル端
 末の「USB-C[™]」出カポートを接続します。
 <u>DisplayPort コネクタで接続する場合:</u>
 付属の DisplayPort ケーブルで、本製品の「DisplayPort IN1」または「DisplayPort IN2」
 ポートとワークステーションの DisplayPort 出カポートを接続します。
- 注意 ケーブルは付属品の使用を推奨します。 付属品以外のケーブルを使用した場合、画面 がちらつくなど表示が不安定になることがあります。
- 3) 本製品をワークステーションから操作して設定変更や精度管理等の制御を行う際は、付属の USB Type-A ⇔ USB Type-B ケーブルで本製品の USB UP ストリームポートとワークス テーション(または他の USB ハブ)の USB DOWN ストリームポートを接続します。
- 4) 付属の電源コードを本製品のACインレットとコンセントに接続します。
 電源コンセントが2Pの場合は、「3P-2P変換アダプタ」を使って接続してください。

(注意) 3P-2P 変換アダプタのアース線はコンセントのアース端子に確実に接続してください。

5) 本製品のメイン電源をオンにして、ワークステーションの電源をオンにします。



日本語

- 医療用途でお使いの場合、本製品は、IEC 60601-1 認定機器及び医用電気システムに接続されることを意図しています。本製品が IEC 60601-1 認定機器へ接続されていない場合は、IEC 60601-1 によるシステム評価が必要となります。
- ・ 付属の電源コード以外は使用しないでください。

複数のモニターをデイジーチェーン接続するときは

DisplayPort コネクタを下図のようにデイジーチェーン接続します。 デイジーチェーン接続が可能なモニターおよび推奨グラフィックスカードについては、弊社の Web サイトをご確認ください。



DisplayPort でデイジーチェーン接続するときは必ず IN1 に接続してください。 IN2 は出力されません。

画面の回転方法

本製品は横型(ランドスケープ)および縦型(ポートレート)に 90 °回転させて使用するこ とができます。ご使用に応じて下記の手順で切り替えを行ってください。

1) 画面を手前にチルトさせます。



2) 画面を一番上まで引き上げます。



3) そのままの状態で画面を 90 °回転させま 4) 画面を任意の高さまで下げます。 す。







画面の角度調整

本製品の画面は下図の範囲で任意の角度に調整することができます。調整するときは図のよう に画面を両手で持ち、ゆっくり動かしてください。



— <u>入</u> 注意 ————— 画面の角度調整を行う際はご注意ください。 指をはさむ恐れがあります。



モニター情報の表示と設定

モニターの各種情報を画面上に表示 (On Screen Display = OSD) させて設定することができます。

1. OSD 機能一覧

OSD の階層と機能概要を示します。

MENU [1/2]	
F INFORMATION	モニター情報表示 (モデル名、S/N 等)
CURRENT STATE	現在の状態表示
DICOM CONFORMANCE TEST	.DICOM 適合試験
START TESTING	
	DICOM 適合性試験を実施する
CANCEL TESTING	DICOM 適合性試験の中止操作
 Yes	試験を中止する
∟ No	試験を続行する
	DICOM 試験を行わない
- CONFIGURATION	
Config 1	コンフィグレーション 1
Config 2	コンフィグレーション 2
└ Config 3	コンフィグレーション 3
├ INPUT SOURCE	
DisplayPort1 [*]	DisplayPort1(IN1)入力
DisplayPort2	DisplayPort2(IN2)入力
└ USB-C™	USB-C™(IN3)入力
├ DYNAMIC GAMMA	
│	無効
∣ └ Enable	有効
├ MULTI PIXEL ENHANCER	
│	無効
∣ └ Enable	有効
	効果 低
Middle	効果中
	効果 高
⊢ AUTO TEXT MODE	
Disable [*]	無効
∣ └ Enable	有効
F TURBO LUMINANCE	
│	無効
∣ ∟ Enable	有効
├ COLOR MODE	
Native	Native 設定
└ sRGB [※]	sRGB 設定

トFUNCTION1 F1 キーに割り振る機能設定
▶ FUNCTION2 F2 キーに割り振る機能設定
L FUNCTION3 F3 キーに割り振る機能設定
MENU [2/2]
- EDID
┃ ┣ Auto Selection [※] 縱橫自動検出
┃ ┣ Portrait縦表示用 EDID
┃ └ Landscape
- TEST PATTERN
SMPTE patternSMPTE パターン
┃ ► AAPM TG18-OIQ pattern [※] AAPM TG18-OIQ パターン
⊢ USB POWER ^{※2}
┃ ┣ On [※] USB 電源オン
┃ ┗ Off USB 電源オフ
LUSB UP-PORT INPUT SELECT
┃ ┣ Auto マイッチ) トーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
┃ ┣ UP 1 [※] UP 1 ポート選択
┃ ┣UP 2UP 2 ポート選択
┃ ┗ USB-C™USB-C™ポート選択
├ USB-C DATA SETTING
┃ ┣ Disable 無効
┃ └ Enable [※] 有効
▶ SELF CALIBRATION RESULTセルフキャリブレーション結果表示
├ DISPLYPORT VERSION
┃ ┣ DP1.2a DP1.2a 設定
┃ └ DP1.1a [※] DP1.1a 設定 (デイジーチェーン使用不可)
FRECOMMENDED REPLACE TIMING
┃ ┣ Disable [※] 表示しない
┃ ┗ Enable表示する
└ FACTORY PRESET
┝ Yes FACTORY PRESET を実行する
└ No FACTORY PRESET を実行しない
・ スタンバイキー、操作キーロックについては (➡ P.42、43) をご覧ください。
※印のついた項目が工場出荷時に選択されています。

*1 FUNCTION キーに割り当てることができる機能

- CONFIGURATION
- DYNAMIC GAMMA
- MULTI PIXEL ENHANCER
- · AUTO TEXT MODE
- TURBO LUMINANCE
- TEST PATTERN

日本語

*2 USB POWER 設定と USB 電源動作

USB POWER	モニター電源オン	モニター電源オフ	モニターパワーセーブ
ON	0	0	0
OFF	0	×	×

○: USB 電源オン、×: USB 電源オフ



注意 USB POWER オフ時は「USB-C™」ポートが使用不可となります。

「USB-C™」ポートでの受像時は USB POWER オフは実行できません。また、USB POWER オフ時は INPUT SOURCE の USB-C が非表示となり選択不可となります。

2. 操作キーガイド

モニターが ON の状態でスタンバイキー__0以外の操作キーいずれかをタッチすると「操作 キーガイド①」が表示されます。そのまま MENU キーをタッチすると「操作キーガイド②」 に切り替わり、上部に OSD メニューが表示され、各種設定を行うことができます。(しばらく 操作されないと操作キーガイドや OSD メニュー表示は消えます。)



メニューを表示して↓または↓キーでカーソルを移動させていくと、メニューのページが切り替わります。

メニュー 1/2 ページ表示 → メニュー 2/2 ページ表示

メニュー 1/2 ページ

	3 M P
MENU	1/2
> INFORMATION	
CURRENT STATE	
DICOM CONFORMANCE TEST	
CONFIGURATION	
INPUT SOURCE	
DYNAMIC GAMMA	
MULTI PIXEL ENHANCER	
AUTO TEXT MODE	
TURBO LUMINANCE	
COLOR MODE	
FUNCTION	

メニュー 2/2 ページ

		3 M P
MENU	2/2	
> E D I D		
TEST PATTERN		
USB POWER		
USB UP-PORT INPUT SELECT		
USB-C DATA SETTING		
SELF CALIBRATION RESULT		
DISPLAYPORT VERSION		
RECOMMENDED REPLACE TIMIN	١G	
FACTORY PRESET		

各設定機能については「OSD機能一覧」(⇒ P.9)をご覧ください。



3. インフォメーション表示

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「INFORMATION」を選択し、**OK** キーをタッチします。すると下図のような「インフォメーション 1/2 ページ」の OSD が 表示されます。

▼または▲キーをタッチするとOSDの「インフォメーション 1/2 ページ」と「インフォメーション 2/2 ページ」が切り替わります。



上図の場合、ファンクション1 F1 キーは「テストパターン」表示のオン/オフ、 ファンクション2 F2 キーは「コンフィグレーション」の切り替えが割り当てられています。 ファンクション3 F3 キーは「未割当」となっています。

4. 現在の状態表示

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) **MENU** キーをタッチします。
- 3) 】または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「CURRENT STATE」を選択し、 OK キーをタッチします。すると下図のような「CURRENT STATE」の OSD が表示され ます。



DICOM適合性試験の実施方法

注意 この機能は、本製品のガンマ特性が DICOM GSDF でキャリブレーションされている ときのみ有効となります。DICOM 適合性試験を行うことにより、本製品が DICOM に 適合しているかどうか表示特性を測定し、確認することができます。 DICOM 適合性試験は、モニターの電源を入れて液晶パネルのバックライトが点灯し てから 60 分以上経過し、輝度が安定した状態で行うことをお薦めします。60 分未満 の場合は、モニターの輝度が安定した状態にならないため、測定誤差が大きくなる恐 れがあります。

実施方法

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) **MENU** キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「CURRENT STATE」を選択し、 OK キーをタッチします。

ガンマ設定

4) ガンマ設定が「DICOM GSDF」になっていることを確認します。

現代の状態表示		
	3	3 M P
CURRENT STA	TE	
LUMINANCE	: 409%	
AMB LIGHT	: 300.3lx	
COLOR	: 6540K	
	(x=0.312 y=0.330)))
INPUT	: DisplayPort1	-
CALIBRATION	ISETTING	
CONFIG	: 1	
LUMINANCE	: 410% / 0.80%	
GAMMA	: DICOM GSDF	-+(1)
COLOR	: 6500K	
	(x=0.313 y=0.329))

羽左の骨能主ニ

5) **BACK** キーをタッチします。

6) ■または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「DICOM CONFORMANCE TEST」
 を選択し、OK キーをタッチします。次に「DICOM CONFORMANCE TEST」のOSD表示から「START TESTING」の「Yes」を選択し、OK キーをタッチします。

注意 ガンマ設定が「DICOM GSDF」になっていない場合、試験開始は表示されません。



 前回の試験結果[※]を表示 (試験未実施の場合は ---表示となります。)
 ※最大偏差を含む
 輝度安定化状態 Stable:安定(推奨) Unstable:不安定
 バックライト点灯時間 60分以上(推奨) 240分以上の場合は Over 240min と表示されま す。

試験開始

測定が完了するまで1分から2分程度かかります。

7) 試験結果の表示

測定が完了すると試験結果が表示されます。



試験結果
 Passed:最大偏差 ≤ 10%
 Failed:最大偏差 > 10%
 Canceled:キャンセルされ
 た

Passed (!), Failed (!)
 推奨条件 (バックライト点灯
 時間 60 分以上で輝度が安定)を満たしていなかった場合に(!)を表示します。
 連続して 30 秒以内に試験を行う場合は、LUMINANCE
 が Unstable になり、
 RESULT は(!)表示になります。
 (2) 最大偏差

この結果は次回の試験またはキャリブレーションが行われるまで保持されます。 推奨条件での最大偏差が規格に適合しない場合は、外部輝度センサーを用いたキャリブレー ションを行ってください。(外部輝度センサーを用いたキャリブレーションの方法について は、キャリブレーションキットの取扱説明書をご参照ください。) OSD の未操作状態が約15秒続くと OSD 表示は自動的に消えます。

日本語

コンフィグレーションデータの設定方法

本製品は、キャリブレーション設定された画面状態(輝度・ガンマ・色温度)をコンフィグ レーションデータとして最大3つまでモニターに保存することができます。コンフィグレー ションデータの切り替えを行うには、OSD で CONFIGURATION を表示して切り替える必要 があります。工場出荷状態ではあらかじめ下記3つが設定されており、工場出荷設定は出荷地 域により異なります。

コンフィグレーションデータの切り替えは、下記手順で行ってください。

コンフィグレー	・フィグレー 輝度 (cd		6 H mm	4° >	11.++11.1_8
ション 設定番号	最大	最小	也温度	カンマ	出何吧琙
1	410	0.6	7500 K [%]	DICOM GSDF	国内, 韓国
2	500	1	7500 K [×]	DICOM GSDF	北米
3	500	0.6	7500 K*	DICOM GSDF	欧州

* x0.299, y0.315

設定方法1

OSD でコンフィグレーションデータを切り替えることができます。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ↓または↓キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「CONFIGURATION」を選択し、
 OK キーをタッチします。次に「CONFIGURATION」の OSD 表示から「Config1」、
 「Config2」または「Config3」を選択し、
 OK キーをタッチします。

設定方法 2

コンフィグレーションデータの切り替えを操作キーのファンクション (F1、F2、F3)に 割り当て、キー操作で簡単に切り替えることができます。ここでは、F2 キーに割り当てる方 法を紹介します。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、OK キー をタッチします。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、OK キーをタッチします。
- 4)「FUNCTION2」の OSD 表示から「CONFIGURATION」を選択し、**OK** キーをタッチします。

注意 工場出荷状態以外の任意の画面状態を設定または保存する場合は、オプションの「キャ リブレーションキット」を必要とします。

- 5)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 6) **F2** キーをタッチして「CONFIGURATION」の OSD 表示から「Config1」、「Config2」または「Config3」を選択します。

コンフィグレーションの設定状態は「CURRENT STATE」の「CALIBRATION SETTING」 ステータスで確認することができます。

現在の状態表示

	3 M P
	CURRENT STATE
	LUMINANCE: 409%
	AMB LIGHT : 300.3k
	COLOR : 6540K
	(x = 0.312 y = 0.330)
	INPUT : DisplayPort1
コンフィガレ、ション来旦	CALIBRATION SETTING
コンノイクレーション留ち —	
	CAMMA · DICOM CSDE
	(x=0.313 v=0.329)
	(

入力信号を切り替える

本製品の入力信号切替は、下記の手順で行ってください。

設定方法1

OSD で入力信号を切り替えることができます。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) 】または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「INPUT SOURCE」を選択し、**OK** キーをタッチします。次に「INPUT SOURCE」の OSD 表示から「DisplayPort1」、 「DisplayPort2」または「USB-C™」を選択し、**OK** キーをタッチします。
- 注意 入力信号がワークステーションから2系統以上入力されていない場合は「INPUT SOURCE」を切り替えても表示は切り替わりません。 USB-C 入力と DisplayPort2 入力の切り替え時はホストとのリンクが切断されるた め、ウインドウ画面の移動が発生します。(ホストと接続中の別モニターに集まる) USB-C 入力との切り替えでこれを避けたい場合は DisplayPort1 入力に接続してご使 用ください。

設定方法2

入力信号の切り替えを操作キーのファンクション(F1、F2、F3))に割り当て、キー操作 で簡単に切り替えることができます。ここでは、F1キーに割り当てる方法を紹介します。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) **MENU** キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、OK キー をタッチします。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION1」を選択し、OK キーをタッチします。
- 4)「FUNCTION1」の OSD 表示から「INPUT SOURCE」を選択し、 OK キーをタッチしま す。
- 5)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)

6) **F1** キーをタッチして「INPUT SOURCE」の OSD 表示から「DisplayPort1」、 「DisplayPort2」または「USB-C™」を選択し、入力信号を切り替えます。 「INPUT」の状態は「CURRENT STATE」のステータスで確認することができます。



ダイナミックガンマ機能

本製品は弊社独自のダイナミックガンマ機能を搭載しています。この機能を有効にすると画面 内に混在するモノクローム画像とカラー画像を自動的に識別して、それぞれに最適な階調での 表示が可能になります。本機能は予め「Disable (無効)」に設定されていますが、OSD 操作で 「Enable (有効)」に設定変更することもできます。

注意 この機能は、本製品のガンマ特性が DICOM GSDF でキャリブレーションされている ときのみ有効となります。本製品の不変性試験を実施する場合は、DYNAMIC GAMMA の設定を「Disable (無効)」にした状態で行ってください。

設定方法1

OSD でダイナミックガンマ機能をオン/オフ (有効/無効) することができます。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「DYNAMIC GAMMA」を選択し、
 OK キーをタッチします。次に「DYNAMIC GAMMA」の OSD 表示から「Disable (無効)」または「Enable (有効)」を選択し、
 OK キーをタッチします。

設定方法2

ダイナミックガンマ機能を操作キーのファンクション (F1、F2、F3)に割り当て、キー 操作で簡単にオン/オフ (有効/無効) することができます。ここでは、F2 キーに割り当て る方法を紹介します。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) **MENU** キーをタッチします。
- 3) 】または】キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、OK キー をタッチします。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、OK キーをタッチします。
- 4)「FUNCTION2」の OSD 表示から「DYNAMIC GAMMA」を選択し、**OK** キーをタッチします。
- 5)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)

- 6) **F2** キーをタッチしてダイナミックガンマ機能のオン/オフ (有効/無効)を切り替えます。 ダイナミックガンマ機能のオン/オフ (有効/無効) 状態は「インフォメーション 1/2 ペー ジ」の「D-GAMMA」ステータスで確認することができます。
 - ・ Disable (無効)
 - ・ Enable (有効)

	インフォメーション 1/2 ページ
	3 M F
	INFORMATION 1/2
ダイナミックガンマ機能 ――	MODEL : CL - S301 SERIAL : ************************************

注意 画像によっては明るさの変化を生じることがあります。

マルチピクセルエンハンサー機能

本製品には、マルチピクセルエンハンサー機能を搭載しています。この機能を有効にすること で画像の輪郭を明瞭にできます。

本機能は予め「Disable (無効)」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable (有効)」に設 定変更することもできます。

マルチピクセルエンハンサー機能が「Enable (有効)」の場合、画面右上に「P-ENHANCE」が点滅で表示されます。

設定方法1

OSD でマルチピクセルエンハンサー機能をオン / オフ (有効 / 無効) することができます。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「MULTI PIXEL ENHANCER」を選 択し、 OK キーをタッチします。 次に「MULTI PIXEL ENHANCER」の OSD 表示から 「Disable (無効)」または「Enable (有効)」を選択し、 OK キーをタッチします。
- 4)「Enable (有効)」を選択すると、「MULTI PIXEL ENHANCER LEVEL」の「Low (効果小)」、「Middle (効果中)」、「High (効果大)」が表示されます。
 ▼または▲キーをタッチして「Low」、「Middle」または「High」を選択し、OK キーを タッチします。

設定方法2

マルチピクセルエンハンサー機能を操作キーのファンクション(**F1**、**F2**、**F3**)に割り当て、キー操作で簡単にオン / オフ (有効 / 無効) することができます。ここでは、**F2** キーに割り当てる方法を紹介します。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、OK キー をタッチします。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、OK キーをタッチします。
- 4)「FUNCTION2」の OSD 表示から「MULTI PIXEL ENHANCER」を選択し、**OK** キーを タッチします。
- 5)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)

- 6) F2 キーをタッチしてマルチピクセルエンハンサー機能のオン / オフ (有効 / 無効) を切り替えます。
 マルチピクセルエンハンサー機能のオン / オフ (有効 / 無効) 状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「P-ENHANCE」ステータスで確認することができます。
- 7)「Low (効果小)」、「Middle (効果中)」、「High (効果大)」を切り替えるには設定方法 1 の 1) ~ 4) で行います。
 - ・ Disable (無効)
 - Enable (有効)
 ト Low (効果小)
 ト Middle (効果中)
 L High (効果大)

	インフォメーション 1/2 ページ
	3 M P
	INFORMATION 1/2
	MODEL : CL-S301
	SERIAL : *********
	VSPU : Rev. 01.02
	MPU : Rev.A
	ACT_TIME : 99999 H
	LAST CAL : 99999 H
	EDID : Auto Selection
フリイピクセリナンバンサ 継出	D-GAMMA : Enable
マルテレクビルエンハンリー 機能 ———	P-ENHANCE : Low
	AUTO-TEXT : Enable
	TURBO-LUM : Disable



本製品には、レポートや患者リストなどのテキスト(白)表示を自動的に検知し、その表示面 積に応じて画面の輝度を抑えるオートテキストモード機能を搭載しています。これまで、高輝 度に設定されている医用画像表示用モニターでのテキスト(白)表示は明るすぎて見づらくなっ ていましたが、本機能により画面の輝度を抑え、目のストレス(疲労)を軽減します。 本機能は予め「Disable(無効)」に設定されていますが、OSD操作で「Enable(有効)」に設 定変更することもできます。



オートテキストモード機能が「Enable (有効)」の場合、効果の度合いを示すイ ンジケータが画面上部に点滅表示されます。 画面上のテキスト (白) 表示面積に応じて画面の輝度が抑えられます。

設定方法1

OSD でオートテキストモード機能をオン/オフ (有効/無効) することができます。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。

3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「AUTO TEXT MODE」を選択し、
 OK キーをタッチします。次に「AUTO TEXT MODE」の OSD 表示から「Disable (無効)」または「Enable (有効)」を選択し、
 OK キーをタッチします。

設定方法2

オートテキストモード機能を操作キーのファンクション (**F1、F2、F3**) に割り当て、キー 操作で簡単にオン/オフ (有効/無効) することができます。ここでは、**F3** キーに割り当て る方法を紹介します。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、OK キー をタッチします。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION3」を選択し、OK キーをタッチします。
- 4)「FUNCTION3」の OSD 表示から「AUTO TEXT MODE」を選択し、**OK** キーをタッチします。
- 5)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- F3 キーをタッチしてオートテキストモード機能を切り替えます。 オートテキストモード機能は F3 キーをタッチすることでオン/オフ (有効/無効) にする ことができます。 オートテキストモード機能のオン/オフ (有効/無効) 状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「AUTO-TEXT」ステータスで確認することができます。
 - ・ Disable (無効)
 - ・ Enable (有効)

インフォメーション 1/2 ページ

			3 M P
	INFORMATION		1/2
	MODEL : C	CL-S301	,
	SERIAL : *	* * * * * * * * * * * *	
	VSPU : R	Rev. 01.02	
	MPU : R	Rev. A	
	ACT TIME 9	9999 H	
	LAST CAL 9	99999 H	
		Auto Selection	
		Enable	
		Enable	
ノートナキストモート機能 ――			
	TURBU-LUM :	DISADIE	

ターボルミナンス機能

本製品には、ターボルミナンス機能を搭載しています。この機能を有効にすることで画面の明 るさとコントラストを一時的に上げて画像診断を補助します。

本機能は予め「Disable (無効)」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable (有効)」に設 定変更することもできます。「Enable (有効)」に設定変更後、一定時間が経つと自動的に 「Disable (無効)」になります。

注意 この機能は、本製品のガンマ特性が DICOM GSDF でキャリブレーションされている ときのみ有効となります。

ターボルミナンス機能が「Enable (有効)」の場合、画面左上に「TURBO-LUM」 が点滅で表示されます。

設定方法1

OSD でターボルミナンス機能をオン / オフ (有効 / 無効) することができます。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「TURBO LUMINANCE」を選択 し、OK キーをタッチします。次に「TURBO LUMINANCE」の OSD 表示から「Disable (無効)| または「Enable (有効)| を選択し、**OK** キーをタッチします。

設定方法2

ターボルミナンス機能を操作キーのファンクション(F1、F2、F3)に割り当て、キー操 作で簡単にオン / オフ (有効 / 無効) することができます。ここでは、 F2 キーに割り当てる 方法を紹介します。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、OK キー をタッチします。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、OK キーをタッチします。
- 4)「FUNCTION2」の OSD 表示から「TURBO LUMINANCE」を選択し、 OK キーをタッチ します。
- 5) 「操作キーガイド①」を表示させます。(➡ P.12)



- 6) F2 キーをタッチしてターボルミナンス機能のオン / オフ (有効 / 無効) を切り替えます。 ターボルミナンス機能のオン / オフ (有効 / 無効) 状態は「インフォメーション 1/2 ペー ジ」の「TURBO-LUM」ステータスで確認することができます。
 - ・ Disable (無効)
 - ・ Enable (有効)

インフォメーション 1/2 ページ

			3 M P
	INFORMATION		1/2
	MODEL :	CL-S301	
	SERIAL :	* * * * * * * * * * * *	
	VSPU :	Rev. 01.02	
	MPU :	Rev. A	
	ACT TIME :	99999 H	
	LAST CAL :	99999 H	
	EDID :	Auto Selection	1
	D-GAMMA :	Enable	
	P-ENHANCE :	Low	
	AUTO-TEXT :	Enable	
ターボルミナンス機能 ―――	TURBO-LUM :	Disable 🗲 🗕	-

カラーモードを切り替える

本製品は、広色域パネルを採用しており、広色域モード (Native) と狭色域モード (sRGB) を 切り替えることが可能です。本機能は予め「狭色域モード (sRGB)」に設定されていますが、 OSD 操作で「広色域モード (Native)」に設定変更することができます。

設定方法

OSD でカラーモードを切り替えることができます。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) 】または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「COLOR MODE」を選択し、OK キーをタッチします。次に「COLOR MODE」の OSD 表示から「Native」または「sRGB」 を選択し、OK キーをタッチします。

画像の表示方向を固定する

本製品の出荷時は、画面の向きを縦型 (ポートレート) および横型 (ランドスケープ) に回転し て切り替えた際に画像の向きも自動で切り替わるよう設定されています。 画面を回転しても画像の向きを固定したまま使用したい場合には、下記の手順で EDID データ の設定を切り替えてください。

設定方法

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) 】または】キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「EDID」を選択し、OK キーを タッチします。次に「EDID」の OSD 表示から「Auto Selection (自動選択)」、「Portrait (縦型表示)」または「Landscape (横型表示)」を選択し、OK キーをタッチします。 EDID の設定状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「EDID」ステータスで確認する ことができます。
 - ・ Auto Selection (縦型/横型自動選択)
 - ・ Portrait (縦型表示固定)
 - ・ Landscape (横型表示固定)

1			2 M D
	INFORMATION		1/2
EDID データステータス情報 ―――	MODEL SERIAL VSPU ACT TIME EDID D-GAMMA P-ENHANCE AUTO-TEXT TURBO-LUM	CL - S 3 01 *************** Rev. 01.02 Rev. A 999999 H 999999 H Auto Selection Enable Low Enable Disable	<

インフォメーション 1/2 ページ

テストパターンの表示方法

本製品は画質確認用のテストパターンを表示することができます。

テストパターンの選択

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ↓または▲キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「TEST PATTERN」を選択し、**OK** キーをタッチします。すると「TEST PATTERN」の OSD が表示されます。 「SMPTE pattern」または「AAPM TG18-OIQ pattern」から任意のテストパターンを選択 して**OK** キーをタッチします。

出荷時に設定されているテストパターンは仕向先により異なります。

仕向け地域	テストパターン
北米	SMPTE パターン
その他の地域	AAPM TG18-OIQ パターン



SMPTE パターン



AAPM TG18-OIQ パターン

設定方法

テストパターンの表示を操作キーのファンクション (F1、F2、F3) に割り当てることが できます。ここでは、F1 キーで表示のオン/オフができるように割り当てます。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) **MENU** キーをタッチします。

- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、OK キー をタッチします。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION1」を選択し、OK キーをタッチします。
- 4)「FUNCTION1」の OSD 表示から「TEST PATTERN」を選択し、 OK キーをタッチしま す。

表示方法

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) F1 キーをタッチしてテストパターンを表示します。
 テストパターンは、表示されてから 10 秒後に自動的に消えます。表示中に再度 F1 キー をタッチすることで、テストパターンを消すこともできます。

USB ハブ 機能

本製品は、USB 2.0 規格準拠のハブを搭載しています。付属の USB ケーブルを USB 対応の ワークステーション、または他の USB ハブに接続することで、本機の USB ハブに USB 周辺 機器を接続することができます。

USB ハブの電源供給 (USB POWER) は予め「On (オン)」に設定されていますが、OSD 操作 で「Off (オフ)」に設定変更することもできます。

注意 USB POWER オフ時は「USB-C™」ポートが使用不可となります。 「USB-C™」ポートでの受像時は OSD 操作で USB POWER を「Off (オフ)」に設定で きません。

設定方法

OSD で USB ハブの電源供給 (USB POWER) をオン/オフ (有効/無効) することができます。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) 】または】キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「USB POWER」を選択し、**OK** キーをタッチします。次に「USB POWER」の OSD 表示から「On (オン)」または「Off (オフ)」を選択し、**OK** キーをタッチします。
- ・パワーセーブまたはスタンバイキー__0によるオフ時に、USB 電源を以下のように制御し 消費電力削減を行います。なお、モニター電源オン時は「USB POWER」設定によらず USB 電源はオンします。
 USB 電源動作については (■> P.11) をご覧ください。

接続方法

- 1) 本製品とワークステーションを付属の DisplayPort ケーブル(または USB Type-C[™])で 接続し、ワークステーションを起動します。(→ P.5)
- 2) 付属の USB ケーブルを、本製品の USB UP ストリームポート (UP 1、UP 2 または上記の USB-C™による) とワークステーション(または他の USB ハブ)の USB DOWN ストリー ムポートに接続します。自動的に USB 機能がセットアップされます。





本製品には USB UP ストリームポートが 3 つ搭載されており OSD メニューでポート選択が可 能です。OSD でのポート選択状態とモニター側の接続ポートが異なっていると動作しません のでご注意ください。ポート選択方法については (⇒ P.35) をご覧ください。 USB ハブに接続するすべての USB 機器の動作を保証するものではありません。ご使用のワー クステーション、OS および周辺機器によって、動作しない場合があります。

● キャリブレーションについて

本製品は USB ポートにキャリブレーションキット (オプション) を接続してキャリブレーションを行うことができます。キャリブレーションの方法についてはキャリブレーションキットの 取扱説明書をご参照ください。

キャリブレーションする際は、付属の USB ケーブルを用いてワークステーションの USB DOWN ストリームポートと本製品の USB UP ストリームポートを接続してください。

● 複数台のモニターを連続してキャリブレーションする

本機種同士の複数台を USB ケーブルでチェーン接続すると、最大6台まで連続してキャリブレーションすることができます。

- 1) ワークステーションの USB DOWN ストリームポートと1 台目のモニターの USB UP スト リームポートを付属の USB ケーブルで接続します。
- 注意 USB UP-PORT INPUT SELECT で選択しているポートに接続して下さい。ポート選択 方法については (→ P.35) をご覧ください。
- 2) 1 台目の USB DOWN ストリームポートと 2 台目のモニターの USB UP ストリームポート を付属の USB ケーブルで接続します。
- 注意 2 台目以降のモニターが CL-S301 の場合は同様に USB UP ストリームポートで選択 中のポートに接続してください。
- 3) 以下同様に2台目と3台目、4台目と5台目というように接続します。



USB UP ストリームポートを切り替える

本製品には、USB UP ストリームポートを 3 つ搭載しており切り替え可能です。そのうち 1 ポートは USB-C™で USB-PD による 60 W 給電機能と、DisplayPort 受像機能を有します。 本機能は予め「UP 1」に設定されていますが、OSD 操作で「Auto (自動)」、「UP 1」、「UP 2」及び「USB-C™」に設定変更することができます。



「USB-C」ポート選択中に「Disable (無効)」を選択すると「USB UP-PORT INPUT SELECT」は「UP 1」に移動します。このため「Enable (有効)」を選択しただ けでは「USB-C」ポートでの接続が行われませんので、再度「USB UP-PORT INPUT SELECT」で「USB-C」を選択してください。

設定方法

1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)

- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「USB UP-PORT INPUT SELECT」 を選択し、 **OK** キーをタッチします。次に「USB UP-PORT INPUT SELECT」の OSD 表 示から「Auto」または「UP 1」、「UP 2」、「USB-C」を選択し、 **OK** キーをタッチします。

● KVM (キーボード/ビデオ/マウス) スイッチ機能について

「Auto」設定時には「INPUT SOURCE」切替に連動して「USB UP-PORT INPUT SELECT」の切り替えを行います。これにより3つの映像入力に応じたワークステーション とモニターの USB DOWN ストリームポートに接続された1組のキーボードとマウスだけ で操作する事が出来ます。

映像入力ポートと USB UP ストリームポートは下記のように対応しており、この機能を使うためにはあらかじめ正しく接続しておく必要があります。

INPUT SOURCE	USB UP-PORT INPUT SELECT
DisplayPort1(IN1)	UP 1
Displayport2(IN2)	UP 2
USB-C(USB-C)	USB-C

USB-Cデータ通信禁止機能モードについて

「USB-C™」ポートのデータ通信を禁止し電源供給と映像受像機能のみに制約する事でセキュ リティの向上を図る事が出来ます。

設定方法

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) 】または▲キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「USB-C DATA SETTING」を選択 し、**OK** キーをタッチします。次に「USB-C DATA SETTING」の OSD 表示から「Disable (無効)」または「Enable (有効)」を選択し、**OK** キーをタッチします。

セルフキャリブレーション結果表示機能

本製品には、内蔵フロントセンサによるセルフキャリブレーション/セルフ DICOM チェック 機能[※]が搭載されており、その結果を表示することができます。 ※ 専用のモニター精度管理ソフトウェアにより機能します。

設定方法

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) **↓**または**▲**キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「SELF CALIBRATION RESULT」 を選択し、**OK** キーをタッチします。次に「SELF CALIBRATION RESULT」の OSD 表示 から「Disable (無効)」または「Enable (有効)」を選択し、**OK** キーをタッチします。
 - ・セルフキャリブレーションの結果を表示します。

セルフキャリブレーション結果

			3 M P
SELF CALIBRATION	N	RESULT	
RESULT	:		
MAX DEVIATION	:		
LAST CAL LUMINANCE	:	99999 H Stable	
ELAPSED TIME	•	0 ver 240 mm	

す。



DisplayPortバージョンの設定

本製品は、DisplayPort バージョン 1.1a、および 1.2a をサポートします。本機能は予め 「DP1.1a」に設定されていますが、OSD 操作で「DP1.2a」に設定変更することができます。 デイジーチェーン接続で使用したい場合には「DP1.2a」に設定して下さい。

設定方法

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「DISPLYPORT VERSION」を選択 し、**OK** キーをタッチします。次に「DISPLYPORT VERSION」の OSD 表示から「DP1.2a」 または「DP1.1a」を選択し、**OK** キーをタッチします。

推奨交換時期表示機能

本製品には、通電時間が推奨製品寿命に近づくと、製品交換を促すメッセージを表示させる機能があります。

この機能を有効にすると、推奨製品寿命まで残り1年を切ると残り日数を、過ぎてからは超過 日数を OSD 表示します。

設定方法

OSD で推奨交換時期表示機能をオン/オフ (有効/無効) することができます。

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「RECOMMENDED REPLACE TIMING」を選択し、**OK** キーをタッチします。次に「RECOMMENDED REPLACE TIMING」の OSD 表示から「Disable (無効)」または「Enable (有効)」を選択し、**OK** キーをタッチします。
 - ・ 推奨交換時期の約1年前になると電源オン後、画面右下に OSD が表示(約10秒間)され、残りの日数をお知らせします。

推奨交換時期



・ 推奨交換時期を超過している場合には超過日数を表示します。

推奨交換時期



ライトボックスモード機能

本製品には、災害時等に光源として照明代わりとなるよう、映像無信号状態にて全白・最大輝 度表示ができる機能があります。この機能はダイレクトメニューにより実行可能です。

設定方法

- 1) ワークステーションをスリープモードにするか、DisplayPort ケーブルを抜くなどしてパ ワーセーブ状態にします。(LED インジケータが橙色点灯)
- 2) 次に 操作キー A~D のいずれかを 4 秒以上タッチし続けます。
- 3) 実行可否の OSD が表示されるので ↓または ↓キーをタッチして「Yes (実行)」を選択し、 OK キーをタッチするとライトボックスモードを実行します。
 - ・ Yes (実行)
 - ・ No (キャンセル)

ライトボックスモード



全白/最大輝度表示し、画面左上に OSD にてライトボックスモード状態である事 を示す「LIGHT BOX」を点滅表示します。 ライトボックスモード実行中は映像信号を接続しても受像しません。

解除方法

下記いずれかの方法でライトボックスモードの解除を行います。

- 方法1 操作キー A~D のいずれかをタッチします。
- 方法 2 メイン電源スイッチをオフにしてから再度オンにします。

注意 なお、これらの操作を行わなくても実行から約 45 分経過すると、ライトボックスモー ドは解除されます。



工場出荷設定に戻す

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

設定方法

- 1)「操作キーガイド①」を表示させます。(⇒ P.12)
- 2) MENU キーをタッチします。
- 3) ▼または▲キーをタッチしてメニュー 2/2 ページから「FACTORY PRESET」を選択し、
 OK キーを 2 秒以上タッチし続けます。次に「FACTORY PRESET」の OSD 表示から「Yes (実行)」を選択し、
 OK キーを 2 秒以上タッチし続けます。
 - ・ Yes (実行)
 - · No (キャンセル)

工場出荷設定



スタンバイキーのロック機能

本製品には、スタンバイキー__0のロック機能があります。うっかりモニターの電源をオフしてしまうことがないように本製品前面のスタンバイキー__0をロックすることができます。



ロック方法

OSD が表示していない状態で スタンバイキー____ 0 を 4 秒以上タッチし続けます。 すると画面上にスタンバイキー___ 0 の現在の状態が表示されます。「STAND-BY KEY: Unlock」の表示が出るので、スタンバイキー___ 0 をさらに 4 秒以上タッチし続けると、ス タンバイキー__ 0 がロックされます。

スタンバイキー___ 切現在の状態







ロック解除方法

OSD が表示していない状態で スタンバイキー____ を 4 秒以上タッチし続けます。 すると画面上にスタンバイキー___ の現在の状態が表示されます。「STAND-BY KEY: Lock」 の表示が出るので、スタンバイキー___ の をさらに 4 秒以上タッチし続けると、スタンバイ キー___ の ロックが解除されます。



操作キーのロック機能



ロック方法

OSD が表示していない状態で▼および▲キーを同時に4秒以上タッチし続けます。 すると画面上に操作キーの現在の状態が表示されます。「OPERATION KEY: Unlock」の表示 が出るので、▼および▲キーをさらに同時に4秒以上タッチし続けると、操作キーがロック されます。



ロック解除方法

OSD が表示していない状態で▼および▲キーを同時に4秒以上タッチし続けます。 すると画面上に操作キーの現在の状態が表示されます。「OPERATION KEY: Lock」の表示が 出るので、▼および▲キーをさらに同時に4秒以上タッチし続けると、操作キーロックが解 除されます。





市販のアームを取り付けるときは

本製品はスタンドを取り外して市販のアーム等を取り付けることができます。 使用するアーム等の仕様をご確認の上、次の点に注意してお選びく ださい。

 ・ VESA マウント 100 mm ピッチに適合しているもの
 ・ 耐荷重がモニター本体(スタンドを取り外した状態)と接続され たケーブル類の総質量に耐えられるもの



注意 取り外したスタンドを再度取り付ける場合は、製品購入時に 取り付けられていたネジをお使いください。

- /八 警告・

取り付け部分の板金厚により必ず指定寸法のネジを使ってください。

ネジの寸法が長すぎる場合は、モニター内部品を破損し、ネジの寸法が短すぎる場合は、 接続が緩み、落下するおそれがあります。

取り付け部分の板金厚	指定ネジ寸法	
3.5–4.5 mm	ISO M4 × 12	
1.5–3.5 mm	ISO M4 × 10(添付品)	
1.5 mm 以下	ISO M4 × 8	
なお、スタンドの取り外しやアーム取り付けはお客様の責任において行うものとし、万一 事故が発生した場合、弊社はその責任を負いかねます。		

アームの取り付け方

- 1) 画面に傷がつかないよう、安定した平らな面にクッション材や柔らかい布を敷きます。
- 2) その上に画面を伏せてモニターを置きます。
- 3) スタンドを取り外します。(プラスドライバーで下 図矢印4 カ所のネジを外します。)
- 4) モニター本体をアームに取り付けます。(取り外し と逆の手順で行います。)



注意 既に固定されたアーム等にモニターを取り付ける場合は、必ず2名以上で安全を確保 して取り付け作業を行ってください。モニターが落下したり転倒したりすると、けが や故障の原因となりますのでご注意ください。

盗難防止セキュリティロックスロット

本製品には、ACCO Brands 社の Kensington MicroSaver[※]セキュリティロックシステムに対応したセキュリティロックスロットを搭載しています。 MicroSaver ロックは、別途 PC 用品販売店などでお求めください。

* Kensington, MicroSaver は米国 ACCO Brands 社の登録商標です。





故障かな?と思ったら

「故障かな?」という場合、修理を依頼される前に次の事項を確認してください。

症状	考えられる原因と対処方法
電源が入らない! (LED インジケータが点灯しな い)	 ・ 電源コードの接続を確認してください。(→ P.5) ・ メイン電源スイッチが入っているか確認してください。
画面が表示されない!	 ・信号ケーブルの接続を確認してください。(⇒ P.5) ・ワークステーションの電源が入っているか確認してください。 ・LED インジケータが橙色になっている場合、ワークステーションがパワーセーブ状態になっている可能性があります。キーボードのいずれかのキーを押してみてください。 ・入力信号の周波数もしくは表示解像度が本製品の仕様に適合していない可能性があります。ワークステーションの取扱説明書に従って、周波数または表示解像度を調整してください。 ・LED インジケータが緑/橙の交互点灯になっている場合は、メイン電源スイッチを OFF にしてから、もう一度ON にしてください。症状が改善されない場合は、弊社サポートデスクへお問い合わせください。
画像が正しく表示されない!	入力信号の表示解像度が本製品の仕様に適合していない可 能性があります。ワークステーションの取扱説明書に従っ て、表示解像度を調整してください。
LED インジケータが 0.5 秒間 隔で橙点滅を繰り返す!	メイン電源スイッチを OFF してから、もう一度 ON にして ください。症状が改善されない場合は、弊社サポートデス クへお問い合わせください。
DisplayPort 入力で画像が正し く表示されない!	DisplayPort 入力は、グラフィックスカード、グラフィッ クスカードのドライバ、OS 等の組み合わせによりうまく 表示されない場合があります。推奨のグラフィックスカー ドについてはお買い求めの販売店にご相談ください。
「Check the system settings.」 という OSD が表 示される!	DisplayPort 入力でノイズの影響等により色深度が 6 bpc になった時に表示されます。グラフィックスカードのドラ イバ設定で 6 bpc 以外の設定へ変更してください。

CL-S301 設置マニュアル 2023 年 12 月版

設置マニュアルに関するご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転記することは禁止されています。
- ・本書の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り、記載もれな どお気づきのことがありましたら販売店にご連絡ください。





〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

Printed in Japan © 2023 JVCKENWOOD Corporation

